

校長室だより

NO.16 平成30年1月 9日

松原市立松原東小学校長 吉岡 英治

二十四節季 「大寒（だいかん）」

1/20 頃十二月中 太陽視黄経 300 度 冷ゆることの至りて甚だしきときなれば也（暦便覧）一年で一番寒さの厳しい頃。逆の見方をすれば、これからは暖かくなると言うことである。春はもう目前である。

平成30年「戊戌（つちのえいぬ）」がスタートしました。戌年なので、戌・犬に関することわざを調べてみました。もともと十二支の子、丑、寅、卯…亥には動物の意味はなく、庶民が十二支を覚えやすくするために身近な動物が当てられたといわれています。

犬も歩けば棒に当たる

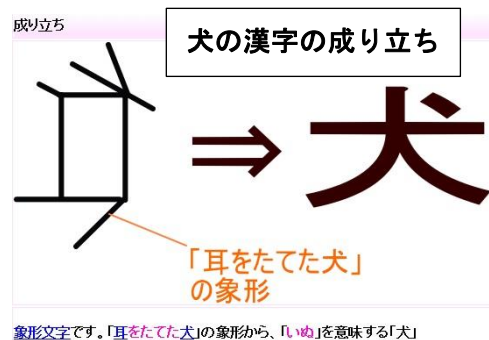
物事をしようとしている者は思いがけない災難にあうものだというたとえ。また、思いがけない幸運にあうことのたとえにもいう。

犬馬の勞(けんばのろう)

犬や馬程度の働きということで、主人や他人の為に惜しみなく働くこと。自分の働きに対して謙遜して使う。

犬の遠吠（とおぼ）え

臆病者が陰で空威張りをしたり、他人を非難したりすることのたとえ。



戌年の長所とされているものは、他人との関わり方に長けていることです。

家族や友人に対しての細かな気配りができますので、先のことを考え準備することに長けていたり、縁下の力持ちのようなこともできますし、リーダーとして引っ張って行く力強さも併せ持っています。

自立心の強い人が多いのも戌年の性格とされており、努力を惜しみません。協調性と柔軟性を併せ持っているため困難な状況でも決してめげずにやり遂げる力を持っています。

いい意味でも悪い意味でも捉える特徴として「頑固」な人も多いのが戌年です。

犬は縄文時代以降、人とともに暮らし家畜化されているといわれています。人と身近な存在なので、ことわざなどいい意味のものと悪い意味のものの両方があります。「狗」は小さい犬を表すもので、この字を使うものには悪い意味のものが多く見られました。

空威張りや他人を非難したりせず、子どものために惜しみなく働けば、子どもの成長という幸運に出会うことを信じて、松東小教職員、力を合わせてがんばります。

地域の皆様並びに保護者の皆様、本年も変わらぬご支援をよろしくお願いします。